年間授業計画　新様式例

# 立川　　高等学校 令和７年度

**社会科**　**科目**　**日本史探究**

教　科：　社会科　　科　目：　日本史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：竹下　）　（B組：竹下　）

使用教科書：　（　実教出版　精選日本史探究　）

教科　社会科　の目標：

| | |
|---|---|
| 【 知　識　及　び　技　能 】 | 日本の歴史についての理解と認識を深めて、現代に生きる国民・市民としての自覚と資質を養う。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 旧石器時代から現代までの幅広い歴史を取り上げることで興味関心を高めるとともに、学んだ知識から現代日本の課題を歴史的な視点から理解できるようにする。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 各時代の社会背景を考察し、価値観を柔軟に受容し、自己の意見を持つ力を養う。 |

科目　日本史探究　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 日本の歴史についての理解と認識を深めて、現代に生きる国民・市民としての自覚と資質を養う。 | 旧石器時代から現代までの幅広い歴史を取り上げることで興味関心を高めるとともに、学んだ知識から現代日本の課題を歴史的な視点から理解できるようにする。 | 各時代の社会背景を考察し、価値観を柔軟に受容し、自己の意見を持つ力を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 単元名　国家の文化と形成・古代国家の確立<br>【知識及び技能】<br>旧石器時代から平安時代までの日本史を整理し、世界史との関わりが理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>平安時代までの知識を基に、各時代の社会背景を考察し、現代との比較に繋げることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追及できる。 | １編　原始・古代の日本と東アジア<br>1　旧石器時代・縄文時代<br>2　弥生時代<br>3　古墳時代<br>4　飛鳥時代<br>5　奈良時代<br>6　平安時代<br>・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成 | 【知識・技能】<br>東アジア史と日本史に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 24 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | 単元名　中世社会の成立と展開・統一政権の成立<br>【知識及び技能】<br>鎌倉時代から江戸時代までの日本史を整理し、世界史との関わりが理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>平安時代までの知識を基に、各時代の社会背景を考察し、現代との比較に繋げることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追及できる。 | ２編　中世の日本と世界<br>1　鎌倉時代<br>2　南北朝時代<br>3　戦国・安土桃山時代<br>３編　近世の日本と世界<br>1　江戸時代<br>・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成 | 【知識・技能】<br>東アジア史と日本史に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| 3学期 | 単元名　近現代の地域・日本と世界<br>【知識及び技能】<br>江戸時代末期から平成までの日本史を整理し、世界史との関わりが理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>平安時代までの知識を基に、各時代の社会背景を考察し、現代との比較に繋げることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追及できる。 | ４編　近現代の地域・日本と世界<br>1　江戸時代末期<br>2　明治時代<br>3　大正時代<br>4　昭和時代<br>5　平成時代<br>・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成 | 【知識・技能】<br>世界史と日本史に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |